

病院事業会計

単位：千円(税込)

当初予算見積額および説明【全体】

1 基本方針

県民が望む質の高い医療を持続的・安定的に提供していくため、病院事業を取り巻く環境の変化に対応しながら、引き続き「医療機能の充実」と「経営の健全化」に取り組む。

令和7年度は、病院統合の効果をより早期に最大限発揮できるよう、人材、施設、医療機器等の経営資源を活用しながら、子どもから大人まで切れ目なく医療を提供できる体制の構築に取り組む。

2 収益的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額			
		全 体	総合病院	精神医療センター	経営管理課
事業収益 A	27,462,800	28,642,900	26,322,100	2,210,200	110,600
医療収益	22,825,299	24,071,557	22,534,655	1,429,114	107,788
うち入院収益	15,355,214	16,075,891	15,017,532	1,058,359	-
うち外来収益	6,220,593	6,768,398	6,519,527	248,871	-
医療外収益	4,403,501	4,346,643	3,562,745	781,086	2,812
附帯事業収益	234,000	224,700	224,700	-	-
うち一般会計繰入金	4,921,000	4,921,053	4,049,967	768,108	102,978
事業費用 B	27,775,300	29,546,100	27,121,200	2,314,300	110,600
医療費用	26,783,187	28,514,449	26,115,476	2,288,373	110,600
うち給 与 費	13,042,420	13,283,413	11,680,462	1,507,805	95,146
材 料 費	6,619,806	7,314,503	7,199,652	114,851	-
経 費	5,104,935	5,453,244	5,003,520	436,449	13,275
減価償却費	1,842,740	2,190,841	2,000,802	190,039	-
医療外費用	758,113	806,951	781,024	25,927	-
附帯事業費用	234,000	224,700	224,700	-	-
差引収支 A-B	△ 312,500	△ 903,200	△ 799,100	△ 104,100	-

(注) 経営管理課から各病院に配賦している本部経費(本部費配賦額(医療収支のうち114,679千円および附帯事業収支のうち3,221千円))については、各病院においては費用に、経営管理課においては収益となるが、同一会計内での資金移動となり、病院事業会計全体としては収益および費用とはならないため、重複分については経営管理課から控除している。

当初予算見積額および説明【全体】

3 資本的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額		
		全 体	総 合 病 院	精神医療センター
資本的収入 A	4,724,000	1,655,800	1,325,400	330,400
企業債	4,676,500	1,617,100	1,293,400	323,700
補助金	150	-	-	-
負担金	47,350	38,700	32,000	6,700
資本的支出 B	7,001,700	4,523,400	4,088,800	434,600
建設改良費	4,793,941	1,693,293	1,356,033	337,260
企業債償還金	2,207,759	2,830,107	2,732,767	97,340
差引収支 A-B (損益勘定留保資金等で補填)	△ 2,277,700	△ 2,867,600	△ 2,763,400	△ 104,200

4 資金残高見込み

	令和6年度	令和7年度			
		全 体	総 合 病 院	精神医療センター	経営管理課
年度末資金残高見込み	3,591,287	2,496,173	847,572	1,587,468	61,133

5 経営の健全化に係る取組事項

(1) 収益の拡大

- 患者の受け入れ拡大
 - ・病病連携・病診連携による機能分担の推進、紹介率・逆紹介率の向上
 - ・周辺医療機関との連携による救急受け入れの拡大
 - ・専門家を活用した病床管理の強化やDPCデータ・医療需要の分析による収益拡大の検討
- 医療機能の充実に伴う収益の拡大
 - ・医師確保に係る取組(専門研修医の受入等)の推進
 - ・集中治療機能の向上(ICU(集中治療室)・HCU(高度治療室)病棟の整備)と効果的な活用による収益改善
 - ・手術室の効率的な運用や増設による手術件数の増加
- 診療報酬制度への対応強化
 - ・求められる医療の質に対応した体制充実による新たな施設基準や加算の届出、統合に伴う診療報酬の加算、DPC機能評価係数の上昇による診療単価の上昇
 - ・診療報酬の請求漏れや査定レセプトの防止対策
- 情報発信の強化

(2) 経費の縮減

- 材料費や委託費等の削減
 - ・専門家を活用したコスト削減および削減ノウハウの取得
 - ・共同購入事業への参加検討
- 総合物品管理(SPD)システム事業者と連携した診療材料や医薬品の調達コストの縮減
 - ・在庫縮減(手術室、病棟等)、品目整理による価格交渉力の向上
 - ・医薬品の後発品等への切り替え
- 部門別原価管理の検討、試行

当 初 予 算 見 積 額 お よ び 説 明 【総合病院】

1 重点的取組事項

(1) 高度急性期・専門的医療の提供

県内唯一の県立の総合病院として、県域・周辺地域から求められる医療機能を果たすため、高度急性期医療を推進するとともに、これまで小児保健医療センターが提供してきた障害児医療や難治・慢性疾患に係る医療を含む専門分野の医療を継続・拡充していく必要があり、施設設備の整備をはじめ、診療所や近隣病院等との機能分担・連携のもと医療提供の充実を図る。

(2) がん診療に係る医療機能の充実

ロボット支援による低侵襲の手術や化学療法、緩和医療や希少がんへの取組に加えて、新たに県内初の動体追尾型の放射線照射装置の稼働やR I内用療法（核医学治療）の導入による高度で患者負担の少ない治療を行うなど、医療サービスの向上を図る。また、がんに関する相談や情報提供なども引き続き進めていく。

(3) 救急・災害医療など政策医療の取組

湖南圏域において二次救急輪番の役割を果たすとともに、当院が持つ心臓循環器系や脳神経疾患、がん治療などに関する強みを生かして圏域を越えた救急対応への取組を推進する。また、現在申請中の災害拠点病院として必要となるDMA Tの体制を拡充するなど、災害時に貢献できるよう取り組んでいく。さらに、国や県の医療政策を踏まえ、県立病院の使命を果たすべく、健康医療福祉部をはじめとする関係機関と調整しながら必要な取組を推進していく。

(4) 病院統合効果の発揮に向けた取組の推進

小児病棟の移転や障害者総合支援法に基づく医療型短期入所サービスの令和8年4月提供開始に向けて着実に準備を進めるなど、医療提供機能の強化を推進し統合の効果を最大限発揮できるよう取り組む。

(5) 小児保健サービスの拠点機能の充実

母子保健の中核的支援拠点として、乳幼児健診後の精密健診事業等を通じ、早期に治療や訓練などの適切な処置を受けることができるよう、療育発達相談事業への専門職員の派遣や母子保健従事者への研修、生活集団教室などの小児保健サービスを提供する。

(6) 心身障害児に対する療育機能の充実

障害を有する就学前の子どもの対象とした児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センターとして、各種専門性を活かした総合的な療育とリハビリテーションを行うとともに、地域療育教室への職員派遣や療育研修会を開催するなど、保健、医療、福祉が一体となったサービスを提供する。

2 業務量等

(1) 病院部門

病 床 数	635床
年 間 患 者 数	入 院 183,253人 外 来 265,978人
1 日 平 均 患 者 数	入 院 502人 外 来 1,099人

平均在院日数 10.8 日
新入院患者数 1,294 人／月
紹介率 82.0 %

(2) その他の部門

・小児保健指導室 精密健診受診児数 2,124 人
・療育センター（附帯事業） 児童発達支援センター 定員 30 人／日
通園児童延数 700 人 外来児童延数 3,700 人

3 収益的収支見積額

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額			
		全 体	病 院	小児保健指導室	療育センター
事業収益 A	25,233,700	26,322,100	26,007,993	89,407	224,700
医療収益	21,350,953	22,534,655	22,445,748	88,907	-
うち入院収益	14,341,974	15,017,532	15,017,532	-	-
うち外来収益	5,987,426	6,519,527	6,519,527	-	-

当 初 予 算 見 積 額 お よ び 説 明 【総合病院】

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額			
		全 体	病 院	小児保健指導室	療育センター
医業外収益	3,648,747	3,562,745	3,562,245	500	-
附帯事業収益	234,000	224,700	-	-	224,700
うち一般会計繰入金	4,084,243	4,049,967	3,790,244	88,907	170,816
事業費用 B	25,422,000	27,121,200	26,807,093	89,407	224,700
医業費用	24,453,644	26,115,476	26,026,069	89,407	-
うち給与費	11,386,550	11,680,462	11,628,511	51,951	-
材料費	6,510,890	7,199,652	7,199,652	-	-
経費	4,648,101	5,003,520	4,967,009	36,511	-
減価償却費	1,663,099	2,000,802	2,000,802	-	-
医業外費用	734,356	781,024	781,024	-	-
附帯事業費用	234,000	224,700	-	-	224,700
差引収支 A-B	△ 188,300	△ 799,100	△ 799,100	-	-

4 資本的収支見積額

(1) 主な有形固定資産購入 医療機器等

○ICU・HCUベッドサイド生体情報モニタ更新

ICU(集中治療室)・HCU(高度治療室)病棟に設置している患者の生態モニタリングを行う装置について、保守対応期限を過ぎて使用しており、ICU・HCUの改修整備に合わせて更新を行う。

(2) 主な病院建物設備改修工事等

○ICU・HCU病棟改修整備

ICU(集中治療室)を増床(4床→8床)、HCU(高度治療室)の病床数を適正化(16床→8床)し、緊急性の高い重篤患者に対応できる高度急性期病棟として集中治療機能の向上を図る。

○手術室増設に係る設計業務委託

急性期の患者受入れや、小児病棟の移転に向けて、全身麻酔による手術が実施できる手術室を増設(+1室)するための設計を行う。

○小児病棟の移転に係る設計業務委託

小児病棟の移転に向けて、1床当たりの面積を増やすなど小児患者の入院環境を整備するために、一般病棟の改修に係る設計を行う。

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額			
		全 体	病 院	小児保健指導室	療育センター
資本的収入 A	4,584,600	1,325,400	1,323,820	-	1,580
企業債	4,537,700	1,293,400	1,293,400	-	-
補助金	150	-	-	-	-
負担金	46,750	32,000	30,420	-	1,580
資本的支出 B	6,778,100	4,088,800	4,087,220	-	1,580
建設改良費	4,653,843	1,356,033	1,354,453	-	1,580
企業債償還金	2,124,257	2,732,767	2,732,767	-	-
差引収支 A-B (損益勘定留保資金等で補填)	△ 2,193,500	△ 2,763,400	△ 2,763,400	-	-

当初予算見積額および説明【精神医療センター】

1 重点的取組事項

(1) 医師の確保による安定的な診療体制

常勤医師確保に向けて引き続き滋賀医科大学精神医学講座との連携強化に努めるほか、令和3年12月に認定を受けた「子どものこころ専門医研修施設群基幹施設」および令和5年10月に認定を受けた「精神科専門医研修施設群基幹施設」による専門研修医・専攻医の受入をさらに推進し、常勤医師の確保につなげていく。

併せて、レジナビ東京への出展により首都圏からの専攻医受入を目指すほか、精神科専門医研修プログラムにおいて総合病院を連携施設に加えプログラムのさらなる充実と総合病院精神科支援の充実を図るなど、新たな施策を講じていく。

(2) 専門医療の提供

アルコール依存症等中毒性精神障害やギャンブル依存症、思春期精神障害などへの専門医療の充実、向上を図るとともに精神科救急医療システムにおける救急患者等の民間では受入困難な患者の積極的な受入に努めるほか、行政や関係機関等との連携強化を図り、県下における精神医療の中核施設としての役割を果たす。

(3) 医療観察法病棟の運営

医療観察法病棟について、近畿厚生局と適切な調整を図りながら対象者の受入を行うとともに、開かれた病院運営に努めつつ、適切な医療の提供と社会復帰に向けた支援を行う。

(4) 地域移行支援の推進

長期入院患者の退院促進等に向けた院内カンファレンスの充実や福祉施設等関係機関との連携強化を図るとともに、訪問看護等を積極的に推進し、患者の地域移行を促す。

2 業務量等

		全 体	病 院	デイケア
病 床 数		123床	123床	-
年 間 患 者 数	入 院	36,683人	36,683人	-
	外 来	28,567人	26,136人	2,431人
1 日 平 均 患 者 数	入 院	101人	101人	-
	外 来	118人	108人	10人

平均在院日数 84.0 日
 新入院患者数 36.0 人/月
 紹介数 30.0 件/月

3 収益的収支見積額

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額		
		全 体	病 院	デイケア
事業収益 A	2,124,700	2,210,200	2,123,889	86,311
医業収益	1,372,671	1,429,114	1,342,803	86,311
うち入院収益	1,013,240	1,058,359	1,058,359	-
うち外来収益	233,167	248,871	234,727	14,144
医業外収益	752,029	781,086	781,086	-
うち一般会計繰入金	735,082	768,108	695,941	72,167

当 初 予 算 見 積 額 お よ び 説 明 【精神医療センター】

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額		
		全 体	病 院	デイケア
事業費用 B	2,248,900	2,314,300	2,227,989	86,311
医業費用	2,225,143	2,288,373	2,202,062	86,311
うち給 与 費	1,474,196	1,507,805	1,445,136	62,669
材 料 費	108,916	114,851	114,801	50
経 費	425,929	436,449	414,263	22,186
減価償却費	179,641	190,039	190,039	-
医業外費用	23,757	25,927	25,927	-
差引収支 A-B	△ 124,200	△ 104,100	△ 104,100	-

4 資本的収支見積額

(1) 主な有形固定資産購入 医療機器等

○臨床検査システム更新

検体検査データを一元管理するネットワークデータベースシステムについて、ソフトウェアおよびハードウェアの保守対応期限を過ぎて使用していることから更新を行う。

(2) 主な病院建物設備改修工事等

○外壁等改修工事

竣工から32年が経過し、外壁タイルのひび割れや剥離、屋上防水シートの劣化による雨水の浸入が認められることから、施設の保全と長寿命化を図るために改修を行う。

	前年度予算額	当 年 度 予 算 見 積 額		
		全 体	病 院	デイケア
資本的収入 A	139,400	330,400	330,400	-
企 業 債	138,800	323,700	323,700	-
負 担 金	600	6,700	6,700	-
資本的支出 B	223,600	434,600	434,600	-
建 設 改 良 費	140,098	337,260	337,260	-
企 業 債 償 還 金	83,502	97,340	97,340	-
差引収支 A-B (損益勘定留保資金等で補填)	△ 84,200	△ 104,200	△ 104,200	-